

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2025 助成の概要と推薦理由

助成番号 25-1-2

プロジェクト名 入院から退院後まで続く長期的小児がん支援事業
の体制強化と運営費安定化の取り組み

団体名 一般社団法人 みんなのレモネードの会

代表者名 榮島 佳子

所在地 神奈川県横浜市

助成額 174万円

助成期間 2025年4月1日～2026年3月31日

設立年 2016年

URL <https://www.minnanolemonade.com/>



成長過程に小児がんの治療を受けた子どもは、「晩期合併症」と呼ばれる化学療法や放射線治療の負の影響が治療後間もなく、もしくは数年後に現れる。具体的には成長や内分泌、心機能などの障害や二次がんなどが挙げられるが、それに伴い、通院や定期的な検査が必要となり、日常生活や学校生活に大きな支障をきたすこともある。しかしこのことは社会的に理解が広まっていない。

この団体は、「小児がんをつたえる、つながる、とどける」支援として、啓発のための講演活動やシンポジウム開催、患児やきょうだい児、保護者の交流機会の提供、入院中の子どもたちにクリスマスプレゼント（みんなレモサンタ）を届けるなど、様々な活動に取り組んでいる。

今回の助成では、スタッフ業務の見直しと効率化を図るとともに、ボランティア募集の仕組みづくりに取り組む。団体の抱えている業務内容をスタッフとボランティアのそれぞれに区分することで、スタッフが資金調達や新たな事業に注力できる体制を整え、持続可能な組織になることを目指す。また晩期合併症に関するアンケートをプレ調査で実施し、今後の支援に活かしていく。

本助成を通じて、団体の組織体制が強化され、将来的に目標としている「みんなレモのおうち（県内外から小児がんの患児家族が気軽に集える居場所）」の設立に向けての一步を大きく歩み出して欲しい。また晩期合併症に関する調査結果を広く発信することで、小児がん患児の長期的支援の重要性を伝えていくオピニオンリーダーとしての役割も期待したい。